

●特別会計および公営企業会計の決算

特別会計

特定の事業を行う場合、一般会計から分離して別に収支経理を行う会計です。(単位：千円)

| 会計名           | 歳入        | 歳出        | 差引額     |
|---------------|-----------|-----------|---------|
| 国民健康保険特別会計    | 9,290,142 | 9,211,215 | 78,927  |
| 後期高齢者医療特別会計   | 1,298,831 | 1,273,152 | 25,679  |
| 介護保険特別会計      | 9,549,124 | 9,402,738 | 146,386 |
| 上川山山林財産区特別会計  | 2,904     | 1,653     | 1,251   |
| 北の沢山林財産区特別会計  | 1,070     | 645       | 425     |
| 有明山林財産区特別会計   | 1,204     | 581       | 623     |
| 富士尾沢山林財産区特別会計 | 1,013     | 401       | 612     |
| 穂高山林財産区特別会計   | 1,019     | 544       | 475     |
| 産業団地造成事業特別会計  | 1,050,478 | 746,897   | 303,581 |
| 有明荘特別会計       | 6,639     | 6,634     | 5       |

公営企業会計

料金や使用料など事業収益で運営される会計です。(単位：千円)

| 会計名   | 収入    | 費用        | 差引額       |            |
|-------|-------|-----------|-----------|------------|
| 水道事業  | 収益的収支 | 2,167,699 | 1,737,021 | 430,678    |
|       | 資本的収支 | 258,023   | 1,773,919 | △1,515,896 |
| 下水道事業 | 収益的収支 | 4,188,890 | 3,560,168 | 628,722    |
|       | 資本的収支 | 819,900   | 2,519,436 | △1,699,536 |

資本的収支の不足額は、補てん財源（損益勘定留保資金など）により補てんしました。



令和元年度と比較した主な増減

歳入

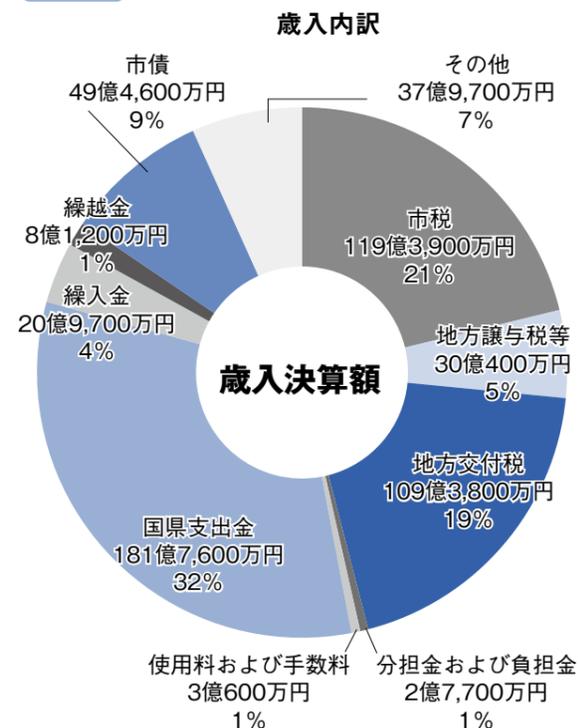
- 市税（市民税や固定資産税など）  
個人市民税 + 1,800 万円、固定資産税 + 6,400 万円、法人市民税 ▲ 6 億 700 万円
- 地方譲与税等（国が徴収した税の配分金など）  
地方消費税交付金 + 3 億 9,400 万円
- 地方交付税（一定の基準により国が交付する税）  
社会福祉費 + 5 億 6,400 万円であったが、平成 28 年度から合併算定替と一本算定との差額縮減が始まり、令和 2 年度は 90% の縮減になるなど、全体では ▲ 9,700 万円
- 国庫支出金（国や県から交付される補助金など）  
国庫支出金は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 + 14 億 1,100 万円、特別定額給付金給付事業費補助金 + 97 億 6,200 万円など、全体で + 115 億 4,800 万円  
県支出金は地域支えあいプラスワン消費促進事業補助金 + 1 億 9,200 万円など、全体では + 1 億 6,000 万円
- 市債（施設整備の財源となる市の借入金）  
新ごみ処理施設建設事業 + 10 億 9,100 万円など、全体では + 2 億 3,700 万円

歳出

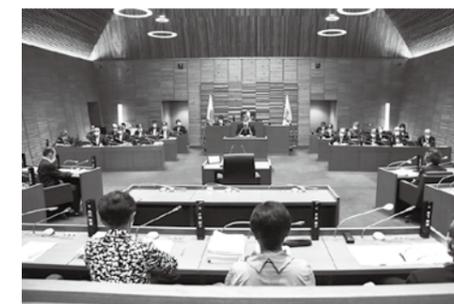
- 総務費  
特別定額給付金給付事業 + 97 億 6,200 万円、寄附採納事務 + 2 億 2,400 万円など、全体では + 100 億 7,700 万円
- 民生費  
安曇野市子育て世帯支援臨時給付金事業 + 2 億 5,200 万円、明科南認定こども園建設事業 ▲ 5 億 3,400 万円、穂高認定こども園改修事業 ▲ 2 億 4,600 万円など、全体では ▲ 1,600 万円
- 衛生費  
水道事業出資金 ▲ 2 億 500 万円、穂高広域施設組合新ごみ処理施設建設事業 + 14 億 300 万円、水道事業負担金 + 1 億 2,400 万円など、全体では + 11 億 8,500 万円
- 農林水産業費  
農道舗装工事（公共施設等適正管理推進事業） + 2,700 万円、農業用排水路工事・農道舗装工事（団体営） ▲ 3,200 万円、林業振興総務事業 ▲ 2,900 万円など、全体では ▲ 9,300 万円
- 商工費  
観光イベント事業 ▲ 2,300 万円、制度資金貸付事業 + 16 億 6,400 万円、産業団地特別会計繰出金（建設） + 4 億 2,200 万円など、全体では + 28 億 5,200 万円
- 土木費  
公園施設長寿命化事業 + 3,800 万円、公園総務費 ▲ 8,600 万円、市道新設改良事業（合併特例債） ▲ 5,800 万円など、全体では ▲ 4 億 6,600 万円
- 消防費  
消防施設維持整備事業 ▲ 800 万円、常備消防負担金事業 + 2,300 万円、消防団詰所更新・統廃合事業 + 1,300 万円など、全体では + 2,600 万円
- 教育費  
学校システム管理事業 + 2 億 3,900 万円、穂高南小学校施設改修事業 ▲ 4 億 7,300 万円、明北小学校施設改修事業 ▲ 4,800 万円など、全体では ▲ 1 億 6,300 万円

一般会計の歳入（前年度比）

歳入 562 億 9,100 万円 (+31%)



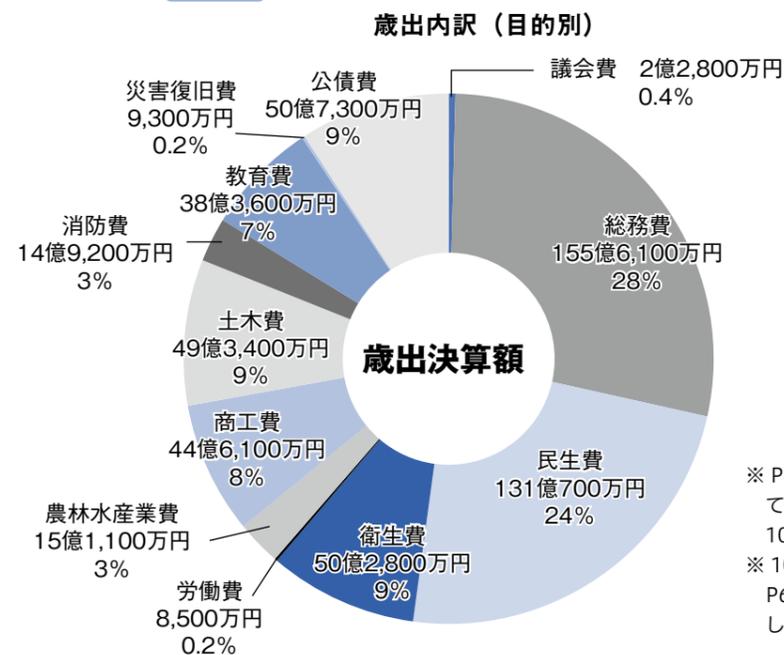
令和2年度一般会計の歳入決算額は、562 億 9,100 万円（前年度比 + 31%）、歳出決算額は、554 億 900 万円（前年度比 + 31.4%）で、歳入歳出差引額（形式収支）は 8 億 8,200 万円となりました。また、翌年度繰越財源を除いた黒字額（実質収支額）は、8 億 2,000 万円となりました。



安曇野市議会は 9 月 17 日、9 月定例会において令和 2 年度決算を認定しました。

一般会計の歳出（前年度比）

歳出 554 億 900 万円 (+31.4%)



※ P6・P8 グラフの構成比については、単位未満四捨五入により 100% になりません。  
※ 100 万円未満四捨五入により、P6・P8 グラフの合計額は一致しません。